

平成26年度進行管理・評価シート
郡上市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 建設部都市住宅課と教育委員会社会教育課との連携	1
---------------------------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 屋外広告物の規制の検討	2
2 重要伝統的建造物群保存地区との連携	3
3 郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定との連携	4
4 都市計画との連携	5
5 郡上市景観計画との連携	6

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区修理事業	7
2 八幡橋(学校橋)架け替え事業	8
3 伝統的水利用施設整備事業	9
4 由緒書整備事業	10
5 空家利活用事業	11
6 城下町交通体系調査検討	12

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 祭礼活動及び用具整備支援事業	13
2 重点区域の文化遺産 記録作成・調査研究事業	14
3 重点区域の文化遺産 情報発信・人材育成事業	15

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 「水の城下町」紹介 郡上八幡水の学校 講演や探検ツアー	16
2 心ひとつにげた音響く 郡上おどり開幕	
3 地元ヒノキ活用、鼻緒も郡上本染 郡上げた、踊り客に人気	
4 踊り明かせ日の出まで 郡上で徹夜おどり	
5 大神楽、仕上がり上々 郡上八幡春まつり、きょう開幕	
6 獅子の軽快な舞 3神社の大神楽 郡上八幡春まつり始まる	

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	17
-------------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成25～26年度
		現在の状況

計画実現のための推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

計画に記載している内容 伝統的建造物群保存地区での事業検討や歴史まちづくりの推進のために、建設部都市住宅課、教育委員会社会教育課などによるプロジェクトチームを結成しており、情報交換とともに各課が協力した施策を展開する。

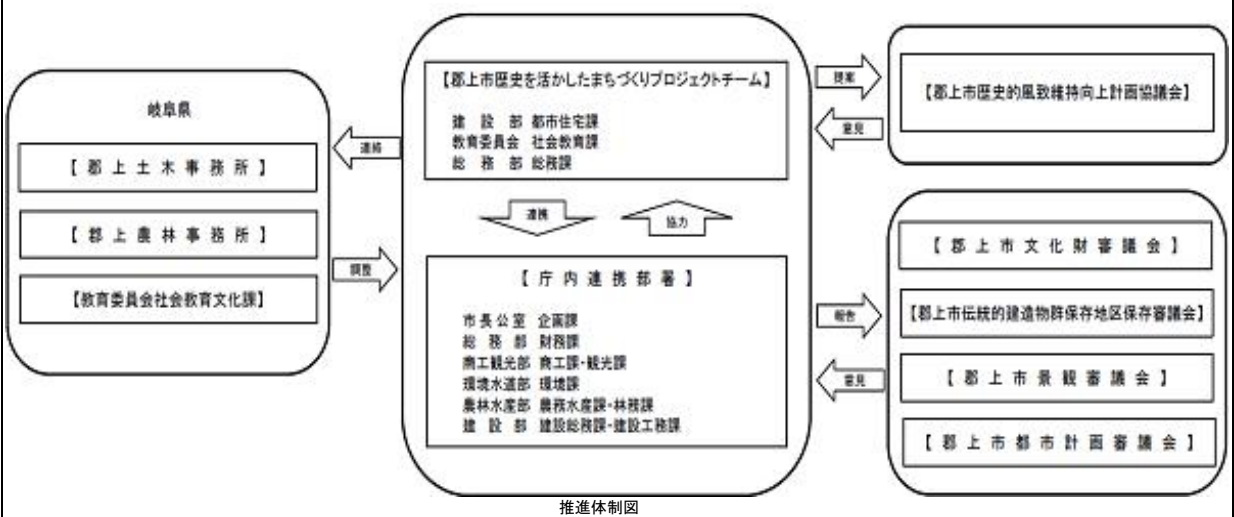
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

プロジェクトチームが協力して、歴史まちづくりに関する事業の進捗管理、情報収集、資料作成等を行った。
また、防災計画策定委員会等の開催前に庁内プロジェクトチームにて、今後の方策や現状・課題について協議を行うなど連携を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 今後、都市再生整備計画を活用した事業が展開されるため、商工観光や防災関連部署を加えて一層の連携強化を図る。
--	---

状況を示す写真や資料等



推進体制図

日程	内容
平成26年6月19日	伝統的建造物群保存地区保存事業について 等

郡上市伝統的建造物群保存地区保存審議会

日程	内容
平成26年4月17日	平成26年度 伝建修理修景事業 計画 等

郡上市景観審議会

日程	内容
平成26年7月29日	郡上市景観百景の認定、第2回郡上市景観賞の説明 等
平成26年10月22日	第2回郡上市景観賞 選考審査
平成26年11月21日	第2回郡上市景観賞 現場審査

郡上市都市計画審議会

日程	内容
平成27年3月17日	歴史的風致維持向上計画 事業説明 等



郡上市景観審議会

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	

屋外広告物に関する規制との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------	---

計画に記載している内容 屋外広告の規制に関しては、現在は岐阜県条例を適用しているが、郡上市として独自の屋外広告物条例を制定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

岐阜県屋外広告物条例に基づき、新規88件、更新11件の設置許可申請を受付。
 郡上市景観審議会委員の協力を得て、重点区域内で屋外広告物に関する届出等の啓発活動と、屋外広告物の現状確認のための市内巡回を実施。
 独自条例制定のため県内の屋外広告物条例を調査した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	郡上市の屋外広告物の取扱いは岐阜県屋外広告物条例の準用により必要最低限の管理を行っている。しかし、市域は約1,030km ² にもおよび、多様な景観構造を有していることから、地域の実情に即しながら景観を守るためには、独自条例によるきめ細かい規制・誘導が必要。
--	--

状況を示す写真や資料等



屋外広告物の届出等に関する啓発活動



屋外広告物の現状確認

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	

重要伝統的建造物群保存地区との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------	--	---

計画に記載している内容 文化財保護法と郡上市伝統的建造物群保存地区保存計画に基づき、建築物や周辺施設の修理や修景を行うとともに、景観向上や防災強化に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

防災計画を策定するためのワークショップ、先進地視察、情報収集等を協力して行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 電線類の無電柱化や防災関連施設の整備にあたり、消防本部や商工観光部をはじめとする他部署との多様な連携を図る必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等

重要伝統的建造物群保存地区との連携業務

日 程	内 容
平成26年6月24日	第1回 防災まちづくりワークショップ
平成26年7月31日	第1回 庁内グループ検討会議
平成26年8月20日	第2回 防災まちづくりワークショップ
平成26年9月22日	第2回 庁内グループ検討会議
平成26年10月10日	京都市産寧坂伝統的建造物群保存地区視察研修
平成26年10月20日	第3回 防災まちづくりワークショップ



庁内グループ検討会議



防災まちづくりワークショップ



先進地視察研修

評価軸②-3
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成25～26年度
	項目	現在の状況
	郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 「城下町郡上八幡地区」内の中央区域、北部区域、東部区域、南部区域の37地区が協定を締結し、建築物、工作物の
 新增改築、除却、外観の変更行為に関して住民自らが基準を設けて審査を行い、景観保全を行っている。今後も、この
 協定を維持し、更に良好な景観形成になるよう取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内において、郡上八幡市街地まちなみづくり町民協定に基づき、建築物20件、工作物1件の審査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

制度の目的や成果の発信による、住民意識の維持が必要。
 環境設備(ソーラーパネル等)の歴史的景観への対応。

状況を示す写真や資料等

まちなみづくり町民協定 建物等審査表
 H 左京町地区(中央通り以外)

審査項目	通り別審査基準	物件の状況	審査	コメント
高さ	2階軒高限度	5.7m以下		
	軒高基準線	道路中心線上より軒先高さを結んだ線の延長よりも低くなるようセットバックする。		
	3階セットバック	2.4m程度、庇を設けない場合には分節する要素を設ける		
1階庇高	間口の過半は軒先後退なし			
建物審美	屋根	勾配屋根		
	壁面・開口部	開口部に出窓や庇を設け、壁面を分節		
色彩	屋根の色	・モスグリーン系：色相5Y・10Y・5GY 明度2～4 彩度2～4		
		・ダークブルー系：色相5PB 明度2～3 彩度2～4		
		・無彩色：明度6以下		
	※その他の色相から選ぶ場合には、明度3以下、彩度2以下とする。			
外壁主色	避けるべき色彩は彩度5以上なおかつ明度7以上とする。 また、色相はYR系(ベージュ・クリーム系)・Y系(オリーブ系)N系(無彩色)などできる限り通りごとに基調を定めるよう努める。			
※真壁造り	<格子>・外壁の過半を縁の細い格子が占める場合： 紅殻系(5Rまたは10RPで明度彩度とも3以下)または黒(N2)			
	<格子>・部分的な格子の場合： 紅殻系または白木(10YRまたは2.5Yで明度7以上、彩度4以下)または黒(N2)			
側壁	<外壁・袖壁>・土壁系(10YRまたは2.5Yで明度8以下、彩度5以下)			
	<外壁・袖壁>・白漆喰塗り(N9)、黒漆喰塗り(N2)			
側壁	路地からよく見える場合、明度4以下なおかつ彩度2以下とする。			



審査員による建築物の審査の様子



建物等審査委員会総会

	評価対象年度	平成25～26年度
--	--------	-----------

項目	現在の状況
八幡都市計画との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 策定から概ね20年を迎える八幡都市計画マスタープランの見直しに際し、用途区域の追加、防災計画、交通計画等を地域住民と協働で検討していく。さらに、重点区域における快適な日常生活と四季を通じた観光との調和に配慮しながら歴史的な町並みの保全・整備を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

マスタープランの見直しに際して、町並、景観、防災、交通対策等に対する多様な住民意見を集約するため、重点区域内の住民を対象にワークショップを2回開催。また、郡上市八幡都市計画マスタープラン策定委員会を組織し、計画の理念やまちづくりの方針等の重要事項を審議した。
 また、防災に関する有識者や地元住民による郡上八幡市街地防災対策基本計画策定委員会を組織し重点区域内の防災計画を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	平成28年度の運用開始を前に、一層の住民周知を図る。

状況を示す写真や資料等



ワークショップの様子

郡上八幡のこれからのまちづくりを考えるワークショップ

日時	内容
平成26年6月15日(日)	①これまでのまちづくりを点検・評価してみよう! ②今後のまちづくりに必要なこと やってみようことアイディアを出そう!
平成26年7月6日(日)	100年後の郡上八幡を思い描いてみよう!



郡上市都市計画マスタープラン策定委員会

郡上市八幡都市計画マスタープラン策定委員会

日時	内容
平成26年7月25日(金)	新しい都市計画マスタープランのポイント 住民アンケートとワークショップの結果について 他
平成26年11月25日(火)	マスタープランの構成について 八幡市街地の現状と課題について 他
平成27年2月23日(月)	都市整備・まちづくりの方針について 他



郡上八幡市街地防災対策基本計画策定委員会

郡上八幡市街地防災対策基本計画策定委員会

日時	内容
平成26年8月21日(木)	郡上八幡市街地における防災課題と方策例 郡上八幡市街地の防災に係る現状と課題 他
平成26年10月27日(月)	郡上八幡市街地における防災上の課題と対応方策 他
平成27年2月24日(火)	郡上八幡市街地防災計画の骨子 他

項目	評価対象年度	平成25～26年度
郡上市景観計画との連携		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 地域の魅力ある景観とその創出に貢献する活動を、発見・推進し、将来へ守り育てていくため「郡上市景観百景」の認定制度を創設している。また、隔年で郡上市景観賞を実施し、郡上市の景観形成に著しく寄与していると認められる建築物、工作物、活動等を表彰しており、景観形成に対する市民意識の高揚と郡上市ならではの個性と魅力あふれるまちづくりの機運を醸成している。重点区域のように本市を代表するような特徴的な景観を有している地区や、住民自らが積極的に景観形成に取り組もうとしている地区については、住民等の合意形成に基づき、より重点的に景観形成に取り組む『景観形成重点地区』としての位置づけを目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成に対する市民の意識高揚を図るため、郡上市景観賞を実施。
 郡上市景観賞選考委員会において、建築部門5作品、工作部門1作品、景観賞選考委員会特別賞1作品を選定。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施主(地域住民)、設計者、施工者への継続した啓発活動が必要。

状況を示す写真や資料等

平成26年度郡上市景観賞受賞作品紹介

郡上市は豊かな自然や格調高い歴史を背景として整備された景観が創られており、より美しく、より調和のとれた景観を守り育てるため、郡上市の景観にふさわしい建築物や工作物、景観づくりに貢献している活動を表彰しております。

今年度、第2回郡上市景観賞の募集を平成26年8月4日～9月30日の期間で行い、市内から建築部門16作品、工作物部門2作品、活動部門2団体の推薦・募集がありました。

11月21日(金)郡上市景観賞選考委員会において建築物部門から5作品、工作物部門から1作品を郡上市景観賞に、その他1作品を景観賞選考委員会特別賞に決定いたしました。

■建築物部門■



■建築物部門■



■建築物部門■



■建築物部門■



■建築物部門■



■工作物部門■



■景観賞選考委員会特別賞■



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	

郡上八幡北町伝統的建造物群保存地区修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 重要伝統的建造物群保存地区保存修理費国庫補助

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物等の保存修理等の基準に沿った整備に対し補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物等の保存修理等の基準に沿った整備に対し補助を行った。
 平成25年度 修理:5件
 平成26年度 修理:10件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

計画的に建築物の修理、修景を実施する。

状況を示す写真や資料等



	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	
八幡橋(学校橋)架け替え事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成26年度

支援事業名 合併特例債

計画に記載している内容 市街地観光の利便性と回遊性の向上とともに、災害発生時に北町と南町を連絡する橋梁として、老朽化した八幡橋の架け替えを景観に配慮しながら実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

八幡橋が架かる吉田川周辺は、環境省の「残したい日本の音風景100選」の一つに選定されており、公共建築物については周辺景観を維持するための先導的な役割を果たすことが求められる。このため、高欄(笠木)と親柱を木製化、道路照明をポンボリとしたほか、歩行者が橋梁から川を眺めることができるよう、幅員を拡幅した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



工事前



仮設ペント設置状況



木製手すり(試作)



床版工事

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25～26年度
伝統的水利用施設整備事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成31年度

支援事業名 岐阜県清流の国地域振興補助金

計画に記載している内容 町並みや、暮らしと一体となって地域のコミュニティを形成してきた多様な形態の水環境や、それに付随する備品(セギ板等)を補修・整備することによって伝統的水利用を促進。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度
郡上八幡の水環境の保全、および知的観光資源等としての活用基礎資料の作成を目的に、用水および水関連施設の悉皆調査を実施し、水資源台帳として取りまとめた。
個人宅にある水屋や水舟、井戸等の水関連施設を把握するため、八幡市街地を対象としたアンケート調査を実施するとともに、その利用形態や利用状況の変化、維持管理の状況、知的観光資源としての活用に対する意向等を把握するためのヒアリング調査を実施した。
水屋やカワド・洗い場等の水関連施設の利用や維持管理の状況、近年における水利用の変化、知的観光資源としての活用に対する意向等を把握するための、自治会や洗い場組合の代表者等を対象としたヒアリング調査を実施した。

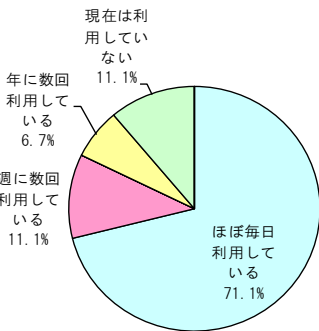
平成26年度
NPO法人「郡上八幡水の学校」による伝統的水利用施設の歴史的調査を支援した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	生活の中に活かされ続ける施設整備とすため、地元住民とともに検討する。

状況を示す写真や資料等

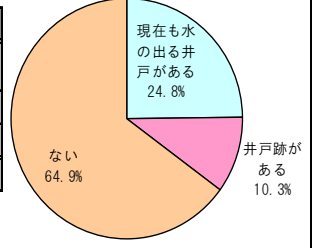
■水屋水舟の利用頻度

水屋・水舟の利用頻度	サンプル数	割合
ほぼ毎日利用している	32	71.1%
週に数回利用している	5	11.1%
月に数回利用している	0	0.0%
年に数回利用している	3	6.7%
現在は利用していない	5	11.1%
利用したことがない	0	0.0%
水屋・水舟 所有世帯	45	



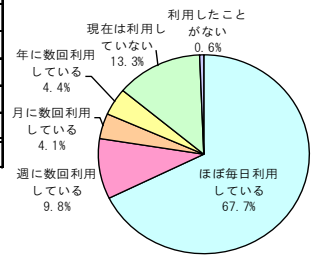
■井戸の有無

井戸の有無	サンプル数	割合
現在も水の出る井戸がある	321	24.8%
井戸跡がある	133	10.3%
ない	840	64.9%
合計	1,294	



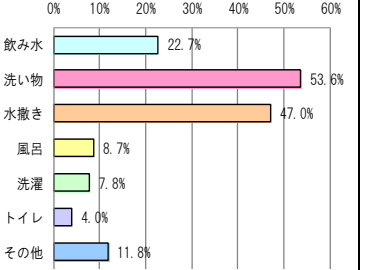
■井戸の利用頻度

井戸水の利用頻度	サンプル数	割合
ほぼ毎日利用している	214	67.7%
週に数回利用している	31	9.8%
月に数回利用している	13	4.1%
年に数回利用している	14	4.4%
現在は利用していない	42	13.3%
利用したことがない	2	0.6%
井戸 所有世帯	316	



■井戸水の利用目的

井戸水の利用目的	サンプル数	割合
飲み水	73	22.7%
洗い物	172	53.6%
水撒き	151	47.0%
風呂	28	8.7%
洗濯	25	7.8%
トイレ	13	4.0%
その他	38	11.8%
井戸 所有世帯	321	



	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	
由緒書整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成31年度

支援事業名 岐阜県清流の国地域振興補助金

計画に記載している内容 伝統的水利用、郡上踊、大神楽に関する由緒書、活動紹介を設置する。景観に配慮しながら分かりやすい案内板を設置する。目的や風致ごとに形態を工夫することによって効率的な情報発信と来訪者の利便性が向上する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度
伝統的水利用施設に焦点を当て、共同の水舟、井戸、水屋の知的観光資源としての活用調査を行った。

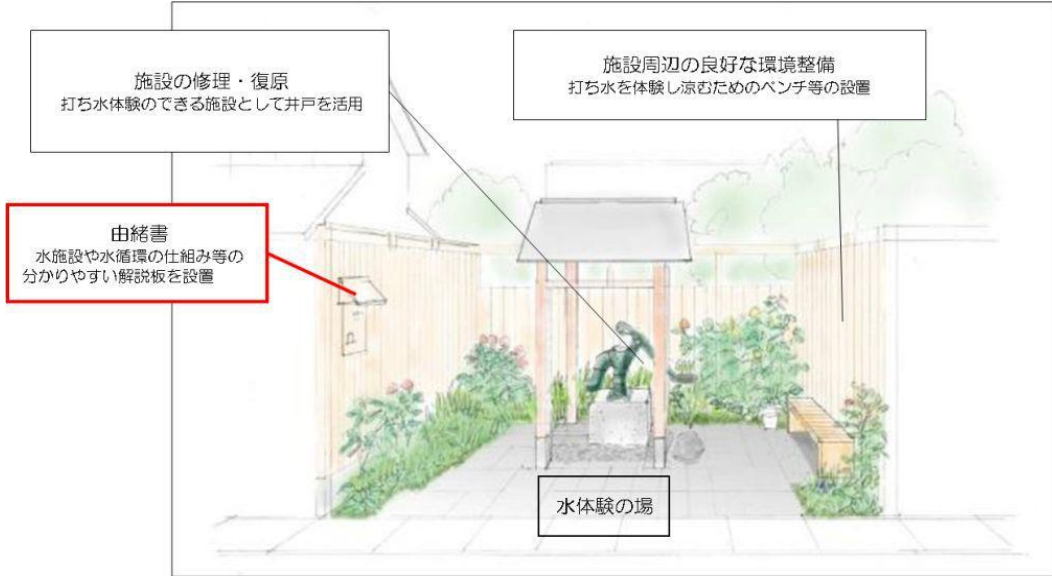
平成26年度
NPO法人「郡上八幡水の学校」による伝統的水利用施設の歴史的調査を支援した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

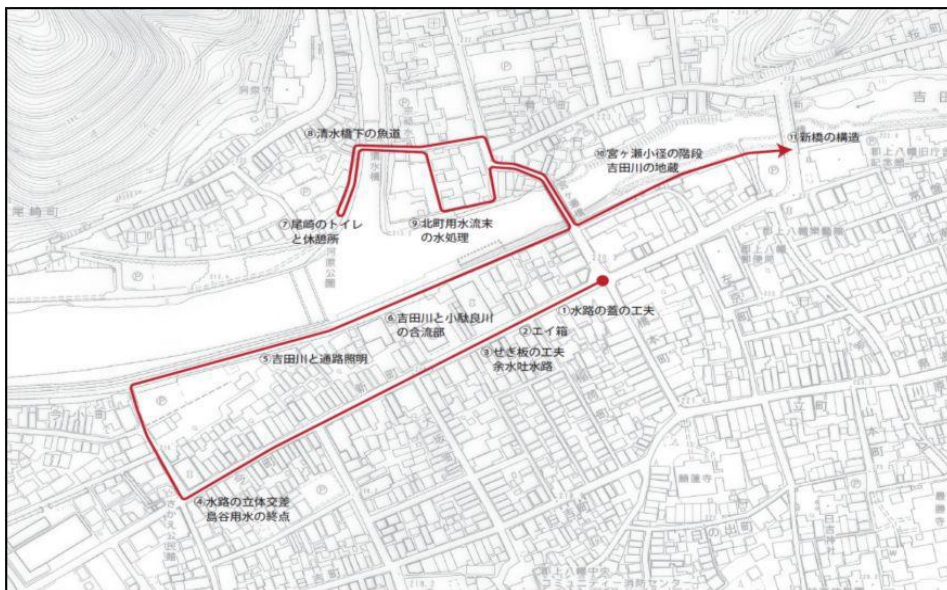
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

多言語化への対応。

状況を示す写真や資料等



■由緒書設置イメージ



■由緒書設置ポイント案(水関連施設)

	評価対象年度	平成25～26年度
項目	現在の状況	
空家利活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成29年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 空家情報を所管する商工観光部と連携し、重点区域の空家利活用の促進を図る。また、賃貸住宅としてだけでなく、様々な活用提案を支援することによって、空家の常態化を防ぐことにつながり、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内の空き家の状況を把握するための調査を実施。
また、空き家改修及び転賃による活用の仕組みづくりに向けた実証実験を行った。

平成25年度

- 「郡上八幡市街地 空き家・空き店舗現状調査」
 実施主体：一般財団法人 郡上八幡産業振興公社
 調査内容：①空き家・空き店舗の目視調査 ②地区長及び近隣住民への聞き取り調査
 ③家主へのアンケート調査
 調査物件数(空き家の数)：353軒 うち活用可能(賃貸又は売却)物件数：37軒

- 「空き家等活用改修費補助金」
 実施主体：郡上市
 実施内容：市街地の空家(1軒)の改修費補助を実施
 交付額300千円 補助率1/3 ※移住者の入居を条件。

平成26年度

- 「空き家活用実証実験事業」
 実施主体：一般財団法人 郡上八幡産業振興公社
 実施内容：空き家改修(稲荷町の物件)及び転賃による活用の仕組みづくりに向けた実証実験

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

まちづくり、文化財、危機管理、商工、観光、交流移住担当間の情報共有と事業連携。

状況を示す写真や資料等



空き家・空き店舗の目視調査



改修中の家屋の外観



改装家屋の内部

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
城下町交通体系調査検討	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 有識者と地元住民を交えて現状の交通課題と風致を考察し、よりよい交通体系を検討するとともに、その成果を推奨観光ルートとしてパンフレットに反映させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

八幡町市街地の交通体系整備に関する基礎データ収集を目的として、観光客が多くなる5月、8月、11月に市街地内の駐車場14箇所において駐車場の利用状況調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

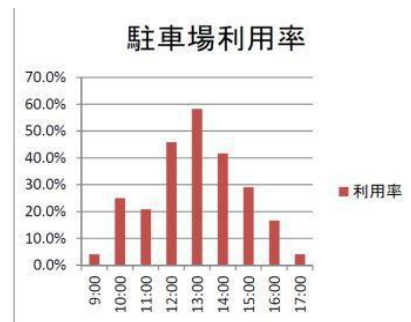
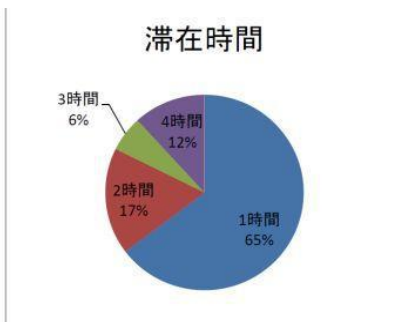
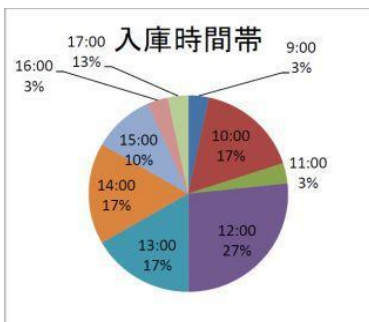
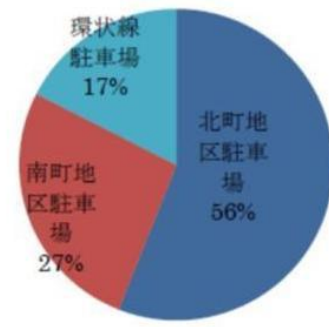
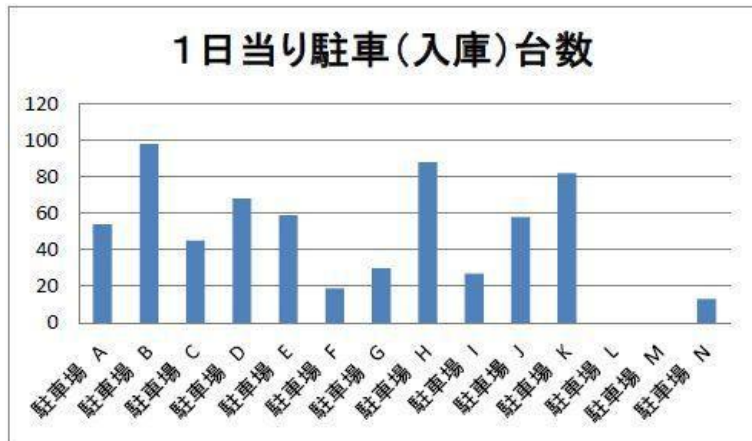
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

結果を商工、観光、交通担当と共有し、交通体系の検討を行う。

状況を示す写真や資料等



区域別駐車割合



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	

祭礼活動及び用具整備支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------	---

計画に記載している内容 毎年4月中旬に開催される春祭りにおいて、大神楽は市街地を巡行する。核となる三つの神社の衣装や小道具等の購入修理や練習活動を支援することにより活動の活性化に歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国県市指定無形民俗文化財伝承支援事業を活用し、春祭りにおける岸劔神社、日吉神社、八幡神社の大神楽の活動を支援した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致の担い手意識の醸成。
--	-----------------

状況を示す写真や資料等



練習後の全員ミーティング



八幡神社祭礼の様子

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
重点区域の文化遺産 記録作成・調査研究事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の保存活用に携わっている団体や地域組織と連携して、文化財や歴史的環境の記録保存と調査研究を行う。

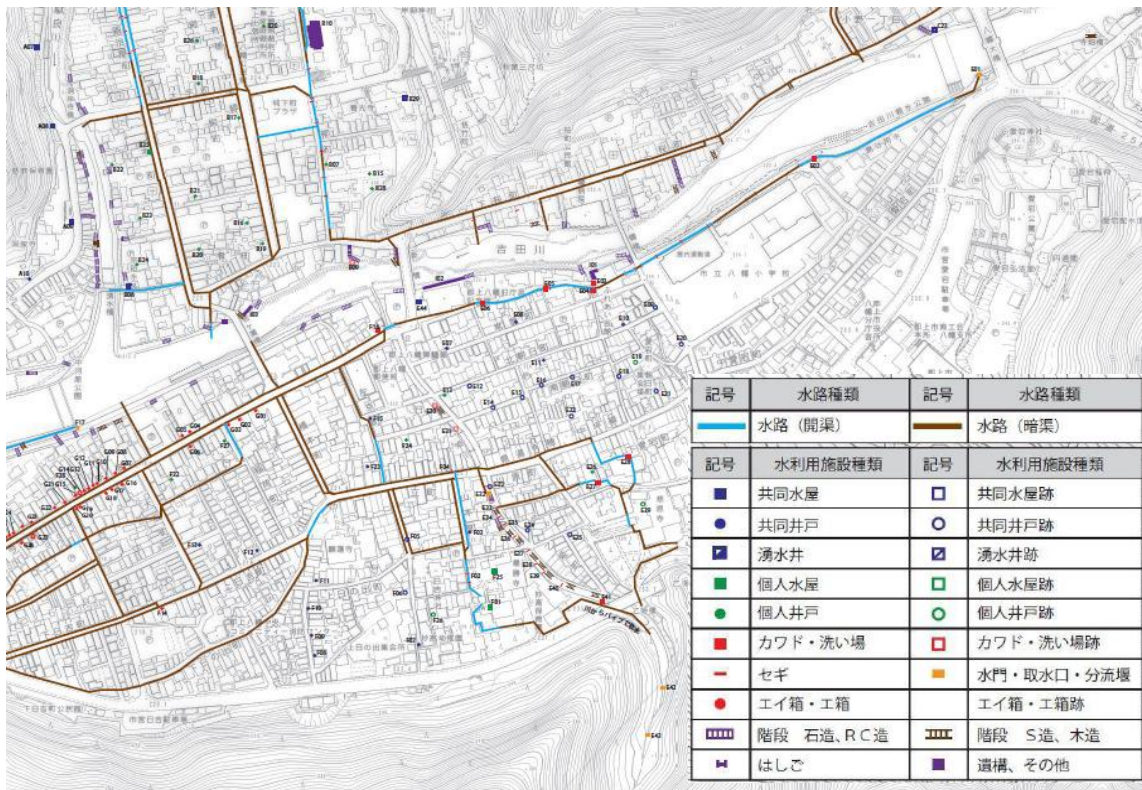
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

水屋や水舟、井戸等の水関連施設を把握するため、利用状況の変化、維持管理の状況、知的観光資源としての活用に対する意向等を把握するために実施したヒアリング調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財・観光担当との情報共有と活用連携の検討。
--	-------------------------

状況を示す写真や資料等



伝統的水利用施設調査地点

<調査地点 No> A17	
<種類> 水屋 [現存/共用] <素材・形式> コンクリート製 <備考> -	
<アクセシビリティ> 1 2 3 4 5 -	
<周辺環境> 1 2 3 4 5 -	
<保存状態> 1 2 3 4 5 右隣の家の変替えに合わせて、上層の屋根の一部などに手が加えられている(10年前の調査時との比較)。	
<利用状況> 1 2 3 4 5 水舟の下に別置きの水槽が追加されている。	
<活用の可能性>(総合評価) 1 2 3 4 5 水神様、お供えの花あり。奥に雨水の水槽あり。水量豊富。	

<調査地点 No> B92 (ヒアリング No.12)	
<種類> 水舟、池 [現存/個人] <素材・形式> 木製他 <備考> -	
<アクセシビリティ> 1 2 3 4 5 個人宅のなかにあり案内が必要	
<周辺環境> 1 2 3 4 5 住居	
<保存状態> 1 2 3 4 5 日常的な手入れを実施	
<利用状況> 1 2 3 4 5 野を洗うなど、生活に使用	
<活用の可能性>(総合評価) 1 2 3 4 5 持ち主からは公開しても良いといわれている。	

水関連施設個別評価シート

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
重点区域の文化遺産 情報発信・人材育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 ふるさとの歴史、文化、自然、産業等の魅力、価値とともに課題を学ぶ各種講座を開催し、風致を担う意識を醸成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「水文化」をキーワードにまちづくり活動を行う団体として、昨年設立された「NPO法人 郡上八幡水の学校」が主催する水環境学習ツアー(水路カラクリ探訪)の実施について、岐阜県清流の国地域振興補助金を活用した活動支援を行った。また、郡上学市民講座の1コマとして、座学とまち歩きを行い、水に関する歴史的風致の説明を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

学習・周知活動の継続による歴史的風致の継承。
 児童、学生への啓発活動の実施。

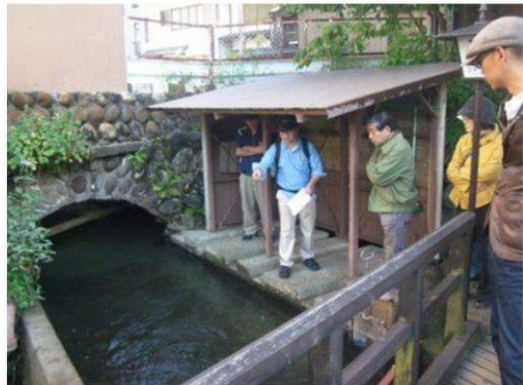
状況を示す写真や資料等



郡上八幡水の学校スタッフによる水環境ガイドの様子



ガイド終了後のアンケート調査



郡上学総合講座での町歩き

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成26年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
大神楽、仕上がり上々 郡上八幡春まつり、きょう開幕	平成26年4月19日	岐阜新聞	
獅子の軽快な舞 3神社の大神楽 郡上八幡春まつり始まる	平成26年4月20日	中日新聞	
心ひとつにげた音響く 郡上おどり開幕	平成26年7月13日	中日新聞	
地元ヒノキ活用、鼻緒も郡上本染 郡上げた、踊り客に人気	平成26年7月20日	岐阜新聞	
「水の城下町」紹介 郡上八幡水の学校 講演や探検ツアー	平成26年7月29日	岐阜新聞	
踊り明かせ日の出まで 郡上で徹夜おどり 他 多数	平成26年8月14日	中日新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的水利用、郡上踊、大神楽やそれらが行われる町並みについて多くの新聞に掲載され、郡上市の歴史まちづくりを市内外に発信することができた。
重点区域の歴史的風致について、日々の練習や関連する話題についても報道され、担い手としての機運が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

掲載終了

評価対象年度 平成25～26年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 郡上市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時: 平成27年5月24日(日) 午後1時30分から3時30分まで

(コメントの概要)

- ・景観賞の決定については、伝建地区と周辺地区で考え方に大きな食い違いが無いよう努める必要がある。
- ・歴史的風致維持向上計画の中に他の計画との連携なども位置付けられていることもあり、特に重点区域で実施される歴まち計画に関連する事業や他部局で実施される事業、また主な市民活動等が分かる一覧表などの資料があると評価もしやすいと思われる。
- ・重点区域の交通体系については、かなり危険な状態であると感じるため、少しでも早く検討し対応する必要があると思われる。
- ・今後は、歴史的風致形成建造物の指定について積極的に取り組むよう進め、指定する建造物についての方向性(ガイドライン)について協議する必要がある。



(今後の対応方針)

- ・景観賞を選定いただく方々にも勉強会など意識の醸成を図り、できるだけ齟齬の無いよう進めていく。
- ・他部局所管事業も含め、特に重点区域内で実施する各事業等について協議会委員に理解いただけるよう資料等を工夫する。
- ・プロジェクトチームの他、関係する部局の連携を図り、事業の進捗管理や情報収集等を行う。